

算数担当が、算数を教えつつ、いろいろなことを考えてみました。

$$\pi=3.141592653\dots$$

No.25：算数授業で伝えなかったことを振り返ってみた

令和8年3月4日
墨田区立柳島小学校
校長 近藤 幸弘
柳島小学校算数担当

●「要するに、算数授業で何を伝えなかったのだろう…？」と振り返ってみました。

4年生の復習プリントを作っていると、最後 B4 の $\frac{1}{4}$ だけスペースができました。そのスペースに、1年間言い続けてきたことをまとめてみました。

1「2年生までの計算は、暗算ですぐに答えを出せるといいです。」

計算ができなければ数学はできない…とは思っています。出典を失念してしまいましたが、「計算が全くできないが、高校～大学数学の『行列』を簡単に解く少年」がいたという話を覚えています。事実、数学は「論理的思考」「空間把握」の学問です。計算力が必須というわけではありません。計算が不得意な数学者・物理学者も大勢います。

ただ、義務教育の算数・数学で考えると、やっぱりある程度の計算力は必要かなと思います。例えば「比例・反比例」の判断では、「2倍、3倍、…になっている」 $\frac{1}{2}$ 、 $\frac{1}{3}$ 、…になっている」と素早く気付いた方がいいですし、そういった数の規則性をすぐに見付けられるということは、算数・数学の楽しさをより味わう上ではやはり必要なのかな…と思います。そうすると、やはり「2年生までの計算…繰り上がりと繰り下がり、九九」となるでしょうか。以前記載した通り、「教科書にある具体的操作を十分にやった上での計算練習→答えを自然と覚えてしまう」というプロセスを踏むことになると思います。

2「定義（言葉の意味、算数・数学の約束事）を正確に理解しましょう。」

これも何度か掲載しました。4年「垂直・平行と四角形」にある「平行」の定義は言えますか？「1本の直線に垂直な2本の直線は、『平行』であるという（「平行」は、2本の直線の並び方を表す言葉）」と教科書にあります。ただし、言葉だけでなく、教科書にある図と合わせて理解することが大切です。定義の正確な理解は、正確な概念形成に必要です。

3「論理的に（順序よく、わかりやすく、根拠をもとに）話したり書いたりするようにしましょう。」

私が時々する雑談の中で、「トラブルのたびに事情を説明していたら、1年後とても上手に話せるようになった」というものがあります。「誰が誰に何をしたの？その時の気持ちは？」とひたすら質問を繰り返し、答えさせていたら、因果関係までかなり正確に話せるようになった子が、前任校に何人もいました。

2、3に共通なのは、「大切なことをきちんと言葉にしましょう」ということかなあ…と思っています。算数・数学をきちんと勉強することは、日常生活にしっかり役に立つなあ…と、改めて思います。

おそらく今号で執筆も最後になると思います。1年間、理屈っぽい話にお付き合いいただき、本当にありがとうございました。算数授業は3月中旬まで続きますので、ご家庭でも家庭学習等でみてあげてください。